

1 防災・防犯

区	地域コミュニティ協議会	活動名
北	松浜地区コミュニティ協議会	青色パトライトパトロール事業
北	コミュニティ木崎村	安心・安全な地域づくり
北	早通地域コミュニティ委員会	「早通みまもり隊」組織活動事例
東	紫竹中央コミュニティ協議会	防犯パトロール
東	新潟市木戸地域コミュニティ協議会	海拔表示・避難場所の確認活動
東	江南小学校区コミュニティ協議会	災害・犯罪に強い安心安全なまちづくり活動
東	中野山小学校区コミュニティ協議会	地域で子どもを見守るボランティアパトロール活動
東	南中野山小学校区コミュニティ協議会	下校時パトロール
東	東中野山小学校区コミュニティ協議会	高齢者と子どもを大切にする安心安全なまちづくり活動
中央	入舟小学校区コミュニティ協議会	地域で安心・安全なまちづくり
中央	栄小学校区コミュニティ協議会	安全で安心なまちづくり推進事業
中央	鏡淵小学校区コミュニティ協議会	鏡淵小学校区における地域の防災力強化を目指した自主防災活動
中央	白山校区コミュニティ協議会	学校と地域、合同自主防災訓練
中央	白山校区コミュニティ協議会	防犯講習会
中央	浜浦小学校区コミュニティ協議会	地域避難施設の検討
秋葉	新関コミュニティ協議会	災害に強い福祉コミュニティづくりの推進 (「避難所運営マニュアル作り」と学校・地域と連携した防災訓練)
秋葉	山の手コミュニティ協議会	避難所設営訓練
南	大通コミュニティ協議会	防災訓練・災害図上訓練・防災だより発行
西	五十嵐小学校区コミュニティ協議会	地域の防火情報についてのチェック活動
西	青山小学校区コミュニティ協議会	防災訓練
西	小針小学校区コミュニティ協議会	防災セミナー
西蒲	松野尾地域コミュニティ協議会	自主防災事業、生活環境事業

北区 松浜地区コミュニティ協議会

活動名：青色パトライトパトロール事業

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

通学路での不審者事案が多くある中、子供達の見守りが不十分なため、関係団体と話し合い地域で何とか取り組みが出来ないか考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

青パトの自主防犯パトロールなどにより、安心・安全な地域環境を目指す。
主体となる人材を選任育成して、コミ協として見守り活動を推進する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

青パト（登録3台）により、地域巡回、声掛けなどを行いました。
また、パトロール用のユニフォームを作成し、各隊員に配布いたしました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

松浜小学校、松浜交番所

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

学校・交番との連携が良くなり、放置自転車等の撤去がスムーズにできた。
パトロール用のユニフォームを着用することにより、隊員としての自覚を高めるとともに、地域に見守り活動をアピールすることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

出勤日誌を作成し、記録を残すことで情報の共有を図りました。
パトロールの際の同乗者の確保が難しいことがありました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

これからも松浜地域が少しでも良くなるよう、地域内で協力者を募り、青パトの台数増や同乗者の確保に努めていきたいと考えています。



北区 コミュニティ木崎村

活動名：安心・安全な地域づくり

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の声を聞くことが先決と全世帯にアンケート調査を実施し、あわせて中学生にもアンケートを実施した。その結果、コミュニティ木崎村のキャッチフレーズとして、「安心・安全いきいき木崎」を採用した。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

安心・安全は地域みんなの手で、防犯部会の活動

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

小中学校の下校時間に合わせて（午後2時30分～4時）、毎月10日と20日に、各集落から選出されている防犯部員とコミセン職員が青色回転灯を装備した車で、地域内を一周する防犯パトロールを実施している。（全自治会が輪番制で実施）

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

北区交通安全指導員木崎支部

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

防犯パトロールで地域内を一周しているが、児童・生徒が手を振ってこたえる等すっかり定着した活動になった。防犯・交通安全のテープを流しているが、テープの声を聞くと、より整列を直すなどの効果が出ている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

春と秋の交通安全旬間に各自治会の主要交差点で、交通安全を呼びかける人間のぼり旗作戦を実施しているが、3年前から、秋は小学生も参加できるように土曜日に実施し、参加者が大幅に増加した。（現在は概ね500人程度が参加）

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

中学生に防犯標語を募集し、優秀作品5点を防犯標語看板にして5自治会に配布していた。今後は、優秀作品を3点に絞り、防犯標語ののぼり旗を作成し、地域内の全自治会に毎年配布していきたい。

北区 早通地域コミュニティ委員会

活動名：「早通みまもり隊」組織活動事例

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の子どもは地域で守る気風を高め、地域内での教育力の向上を図る。
児童生徒の登下校の安全を確保する。
不審者の抑止を図る。以上の課題解決のために組織を立ち上げた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

早通地域の子ども達が、地域で安心・安全に過ごせるよう「みまもり活動」を行うことにより、子供たちの安全の保障や安全意識の向上、健全育成に寄与し、併せて地域内での教育力の向上を促進させる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 緊急時みまもり(全隊員 約60名に連絡)
- ・不審者等事件発生時や災害時において、地域・学校・警察署より要請があった場合実施
下校時でのみまもり(出勤可能な隊員)
 - ・安心・安全な登下校の確保・交通安全の喚起運動・あいさつによる声かけ運動の実施
- *原則として、毎月2~3回程度、自治会内通学路や主要交差点等で1~2時間実施
- 4月当初は、登下校時に小学校新規入学生の付添い(交通安全指導)を実施する。
- 夕刻時でのみまもり(ローテーションを組みグループで出勤)...非行防止活動
- ・夏休み前後の期間におけるみまもり活動の実施(駅前・公園・コンビニ・スーパー等)

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

早通南小学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・地域ぐるみでみまもり活動を行うことにより、安心・安全の確保が一段と向上した。
- ・小学生の生徒と指導を通じて交流を図ることで、世代間の格差を超えて気軽に児童・生徒と話ができる等、交通安全に関する意識の向上のみならず、生徒が抱える困りごとや相談などに対して助言や問題の解決に大きく貢献できた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・通年を通じた人材の確保(みまもり隊)...苦労した点

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・主として小学生を対象とした交通安全意識の向上の充実、犯罪発生時における緊急対応の拡充、更なる犯罪等(児童・生徒による万引きや喫煙・夜遊び等)の抑止活動
- ・現在、当コミュニティ委員会では、「みまもり隊」が行う上記事業に伴い、中学生・高校生を対象とした施設(健全育成促進施設)を立ち上げ、交流場所や勉強する場所を提供している。今後も施設ボランティアの充足を図るとともに、安心・安全意識の向上や青少年健全育成の促進、社会教育の拡充また、地域間での更なる一体感の醸成を目指したい。

東区 紫竹中央コミュニティ協議会

活動名：防犯パトロール

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

数年前、空き巣被害が集中して発生しました（居空・しのび・タイヤ泥棒・オートバイ泥棒）。交番からも情報を聞き、回覧などで啓蒙の取組みを行いました。また、被害者からも聞き取りを行い、それを伝える取組みも実施しました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

犯人の特徴について、情報提供を行う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

防犯モデル自治会に指定されたこともあり、役員で夜間の防犯パトロールを実施しており、当該活動を今年度よりコミュニティ協議会の事業として拡大した。

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

近年、空き巣が発生しておりません。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

現状を継続します。コミュニティの一体感を出すために、名前入りのユニフォームを作成します。



東区 新潟市木戸地域コミュニティ協議会

活動名：海拔表示・避難場所の確認活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成23年3月に東日本大震災による津波、同年7月に新潟福島豪雨による水害等が相次いで発生していることから、地盤の低い木戸地域は津波・水害に対し迅速に対応が出来るような措置をとっておく必要があると考えた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

自分達の住んでいる場所は、どの位の海拔か、また災害時、早急に避難できる場所はどこか等をみんなに周知すること。一般の通行者にも分かるようにすること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

当該地盤の海拔表示とその場所から近距離の避難場所を表示した札を電柱に取付けることとしたが、少ない経費で効果的な取付け場所を探すため、地域全域の電柱設置状況を確認した。基本的には交差点やごみステーション等多くの人が目にする場所を選んだ。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

山木戸自治連合会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域住民は、自分の住んでいる土地の海拔を知り、その低さを改めて認識することにより、津波・洪水の早期避難の心構えが改善されてきている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

本事業はより多くの住民に関心を持ってもらうため、表示札の電柱への取付けは各地域にお願いした。電柱への取付けについては、いろいろな留意点があることから作業前に自治・町内会長等への説明会を開催した。しかし、実際の取付け業者までは徹底が不十分なところもあり、これから手直しの必要な箇所がある。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

表示板の取付けについては、コミ協情報誌で既に住民に知らせてあるが、今後は、この表示板に表示している避難場所への安全な避難ルートを確立して地域住民に周知する必要がある。



東区 江南小学校区コミュニティ協議会

活動名：災害・犯罪に強い安心安全なまちづくり活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

近年、国内において自然災害の多発や子どもたちが不審者による犯罪に巻き込まれたり、高齢者が交通事故・火災・詐欺などの被害者となる事案が頻発している現状から、地域内の防災・防犯体制の強化と子どもたちの交通安全を確保するため、各自治会等には、平成 19 年度当初から自主防災組織と安心安全パトロール隊の結成を主要課題として、取り組んでいる。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・防災・防犯環境の整備を図るため、自主防災とパト隊未組織の自治会等に早期結成を要請。
- ・自主防災組織結成の自治会等には、大規模災害時に備えた自主防災訓練を要請。
- ・パトロール隊結成の自治会等には、子どもたちの登下校時に巡回・巡視・声掛けの要請。
- ・パトロール隊統一行動日（別紙）を設定し、巡回・巡視の強化により、子どもたちの安全確保。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・自主防未組織自治会等対象に出前講座、又、高齢者対象に防災・交通・防火・防犯講習会の開催。
- ・自主防結成自治会等は防災訓練の実施、又、各自治会役員を対象に防災関連施設等の視察研修。
- ・子どもたちの登下校時にパト隊用の装備で交差点・通学路などの巡回・巡視・声掛けの励行。
- ・日常の散歩・買物で近くへ外出の場合も、パト隊用の帽子・ベスト・ステッカー等装着で実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

石山地区公民館



実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・交通安全・防災・防火・防犯意識の向上と連携・協調・交流の促進。
- ・子どもたちの交通事故・不審者による猥褻行為の沈静化及び火災・盗難事件等の減少。
- ・パトロール隊中心の朝のラジオ体操時には、公園内の巡回・ごみ拾いなど環境の美化。
- ・毎朝の声掛け運動から、子どもたちや住民も笑顔で挨拶するようになりパト隊員が元気を貰う。
- ・子どもや住民とパトロール隊員とに信頼関係が醸成、又、ドライバーのマナー・ルールの遵守。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・夏休み中の公園・神社などの夜間パトロール等の実施及び企画事業への参加者募集の困難性。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・自治会等間でボランティア活動に温度差があり、地域ぐるみで安全を「共有」できる環境の整備。
- ・子どもたちや高齢者等の交通安全の確保と地域の防災・防火・防犯活動の継続。



東区 中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域で子どもを見守るボランティアパトロール活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成 16 年頃より、全国的に不審者が出現し、子ども達が危害を受ける事例が多発した。当地区ではコミ協を立ち上げた当初より、地域が一丸となって子どもが安心して生活できる見守り活動に取り組む必要があると考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

子どもたちへの声掛けや巡回を行い、犯罪などの危険な事態が子ども達に及ばないような環境をつくることです。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

全自治会に呼びかけパトロール隊員を編成し、児童の下校時に合わせたパトロールを組織的に実施しました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

中野山小学校及び中野山小学校 PTA、管内の全自治会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

次第に参加者も増えるようになり、地域の中で、「子ども達を危険から守る」という意識とともに住民同士の連携もできてきました。

また、子どもたちへの声かけにより、大人と学校の関係改善がすすみました。

さらに、巡回中パトロール隊員と地域住民との挨拶等の交流もできています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

当初は、ユニホームの調達等経費の面で大変でした。関係機関の協力を得ながら、当地域を明示したユニホームを整備してきました。また、少しでも幅広い年齢層の方からパトロールに参加してもらおう心がけています。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

少しずつ、PTA の協力も得られ年齢層が広がる一方、ベテラン層の年齢が上がり対策が急がれています。地域の安心安全を守る重要な活動なので、しっかりした対策を住民の皆さんと共有し取り組んでいきたいと考えています。



パトロール隊感謝の集い

東区 南中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：下校時パトロール

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・他の地区で、子どもたち（低学年児童）をねらう犯罪が発生した。また、交通事故も発生していた。
- ・この地区では、防犯及び交通安全のパトロールをしていなかった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・防犯・交通事故防止のパトロール隊を結成した。
- ・下校時の児童の安全を確保することと、交通事故を防止することを目的としてパトロールを始めた。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・隊員（ボランティア）を広く募集し、ジャケットと帽子を配布した。
- ・隊員の毎日の活動日程表を月ごとに作成して配布した。
- ・報告会と研修会を年2回行っている。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

地域のボランティア



実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・学校と地域の距離感を縮めることができた。また、児童との信頼関係ができた。
- ・地域としての防犯・交通事故防止の活動として認められた。
- ・黄色いジャケットと帽子で町内を回るため、犯罪・空き巣が減り、交通事故も減少した。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・コミ協の役員と自治会長を、当番の班長（責任者）とした。
- ・毎日の個人別の予定表を作成した。
- ・研修会を年2回行い、講師に現職の警察官及び防犯関係者を呼んだ。
- ・研修会の講演に、NAMARAの江口さんをお呼びした。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・毎年、新1年生に、下校時パトロールを通してマナーの指導を行うと共に、犯罪の防止と交通安全の確保に努めます。
- ・安心で安全な住みよい「町」にします。
- ・地域全体の防犯及び交通安全活動としてすすめていきたい。



交通安全講話



NAMARA江口さんの講演会

東区 東中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：高齢者と子どもを大切に作る安心安全なまちづくり活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・高齢者が半数を占める自治会の増加
- ・一部地域の雨水冠水道路の改善

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・高齢者と親子が一堂に会して交流しあう活動の場づくり
- ・関係機関への働きかけに努める

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・みんなの広場（親子活動）
- ・みんなの居場所（高齢者）
- ・交通安全指導
- ・関係機関との具体的打合せ

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

- ・学習ボランティア団体

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・みんなの広場、みんなの居場所は、年々参加者数が増加している
- ・子どもの交通事故件数0件
- ・冠水対策の具体的工程が示される

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・多くの人々から参加してもらうために広報と口コミに力を入れる
- ・学校との連携を図る

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・今までの活動がより充実するように努める

中央区 入舟小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域で安心・安全なまちづくり

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

新潟地震の教訓から、災害や犯罪から、住民を守ろう
高齢者が市内で一番ということで、高齢者の見守りが必要と考えた

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

災害や犯罪に合わないよう、十分な研修や訓練を実施する計画を立てる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

全町内に呼び掛け、パトロールや防災訓練、研修を行っている。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

附船交番

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

年々防災意識が高まってきた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

同じ人ばかりが参加するのではなく、全員が参加できる曜日や時間帯を工夫している。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

いろいろな意見が出せるよう検討したい。

中央区 栄小学校区コミュニティ協議会

活動名：安全で安心なまちづくり推進事業

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

ひとり暮らしのお年寄りや高齢者が多く地域の安全で安心な暮らしを守っていくため、福祉、教育、防災、防犯・防火及び環境等多面的な観点から、この事業を実施し地域住民の安全安心を守ることで、友好的な活動を繰り広げ、その活動をPRして安全安心対策に理解を促進するとともに、ひとり暮らし高齢者世帯の見守りをするることにより、地域の福祉の向上を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

コミ協、地区防犯協会、防火連合会役員並びに小学校セーフティスタッフと共に子どもたちの声掛けや地区内夜間パトロールを実施して犯罪の起きない環境をつくる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

セーフティスタッフによる登下校子どもたちの安全見守り、声掛けや毎週1回定期的に防犯協会、防火連合会役員や町内会の防犯・防火役員と一緒に地区内パトロールを継続して実施していく。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

栄小学校セーフティスタッフ

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

参加者の「自分たちの地域の防犯は自分たちで守る」という意識が高まった。子どもたちに声掛けをすることによって元気のいい返事が返ってきて、さわやかなあいさつの輪が広がっている。パトロールすることによって防犯、防火の面で大事に至っていない。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

防犯・防火パトロールを行ううえで、役員のほかに各町内からの防犯・防火委員が毎週一回の参加をしてくれるか心配をしたが、町内会長の呼びかけにより委員の参加があり、計画通りの人数でパトロールできた。毎月の参加者の指定表を作成している。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

これまで通りの活動を継続していきたいと考えているが、地域の参加をさらに呼びかけて、多くの人から協力してもらえよう取り組み、この活動を活発にして、事故、犯罪のない町づくりと輪を広げて防災活動に生かしていきたいと考える。

中央区 鏡淵小学校区コミュニティ協議会

活動名：鏡淵小学校区における地域の防災力強化を目指した自主防災活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

コミュニティの範囲が広く、避難所になる学校が複数となるため、それぞれの自治町内会が防災で抱える課題を解決し、横断的に活動する防災組織が必要である、と考えました。鏡淵小学校区コミュニティ協議会の専門部として防災部が発足しました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

災害に強い自治町内会をつくるために、自助・共助の精神にもとづき、自主防災活動を展開して、安心安全なコミュニティを目指します。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

防災部の年間活動計画を作り、自主防災活動を行っています。主な活動は、地域の防災リーダーへの研修、防災講演会が中心となっています。また、災害時避難所になる小学校との合同防災訓練の企画運営にたずさわり、支援活動を行っています。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

鏡淵小学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

自治町内会が防災活動で抱えている問題点を共有できてきました。解決に向けて少しずつ糸口が見つかってきました。防災部の発足から比べて、コミュニティの防災活動への意識が向上していると感じます。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

コミュニティの構成員の高齢化や子どもの減少、防災活動への若年層の低調な参加、自治会町内会のコミ協防災活動への温度差などがあります。防災部会でどうすれば活発な活動ができるか意見を出し合い、行動しています。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

これからも自治町内会に対して、自主防災活動への参加を呼びかけます。また、それぞれの自主防災会に対して支援活動を継続します。あわせて、小学校との合同防災訓練等を通じて、コミュニティ・学校・行政との間の防災体制強化を図っていききたいと思います。

中央区 白山校区コミュニティ協議会

活動名：学校と地域、合同自主防災訓練

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

厳しい状況において有効な防災技能をつけるために、できるだけ災害時に近い環境下での防災訓練を実施すること。地域災害活動において、防災意識と技術を身につけていただき、地域防災力の向上を図ること。また、地域住民同士のつながりと連帯感を深める。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・避難時に学校・地域・支援者（消防・消防団...他）としての役割分担と連携。
- ・体育館一斉避難後の避難所の設営（学校・地域の区分と本部...他）と避難者員数・怪我人の有無等の確認と集計。
- ・高所一斉避難時の避難誘導と怪我・要救助者の有無の確認 避難終了後、員数・怪我・要救助者の有無、避難所要時間の把握等。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・自主防災委員会開催打ち合わせ
- ・学校と打ち合わせ・摺り合わせを、頻繁に行った。
- ・訓練現場（校舎全般区分・配置（受付、誘導員、避難所（体育館・屋上）...他））の事前確認実施。
- ・消防、消防団への訓練内容の説明と摺り合わせ。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

白山小学校（先生・生徒と父兄）、中央消防署白山出張所、中央方面白山分団

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・避難時に学校・地域・支援者（消防・消防団...他）連帯感の向上。
- ・自主防災組織、防災委員同士の連帯感の向上。
- ・地域住民とのコミュニケーションの向上と住民の防災意識の向上。
- ・「自分の命は自分で守る」という、自助の再認識。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・最初から最後までシューズカバーを使用して訓練を行った。
- ・班区分を明確にする為、カラー板（各班長）とカラーたすき（全員）に着用させた。
- ・学校生徒は学年クラス別に低学年から地域は赤・青・白・黄の班ごとに避難を行う。
- ・避難時に避難者が重ならないように学年ごと、班ごとに交互に東西の階段を使用した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・厳しい状況下において有効な防災技能を付けるために、出来るだけ災害時に近い環境下での防災訓練を繰り返し行うこと。
- ・定期・定例防災組織委員会の開催。

中央区 白山校区コミュニティ協議会

活動名：防犯講習会

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

振り込め詐欺の横行

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

振り込め詐欺の被害を防ぐ

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

防犯講習会 開催：45名参加（1回）

防犯パトロール開催：60名参加（1回）

電話機に貼るシールを作り全戸に配布「振り込め詐欺ご用心」

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

中央交番、市役所前交番

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

白山校区では4年前に1件あり、その後発生していない。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

どういったシールを作るか苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

年1回は講習会を開き、地域の住民と交流する。

中央区 浜浦小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域避難施設の検討

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- 1) 民間津波避難所開設は損傷弁償等で受け入れ困難
- 2) これまで、公共施設は地域内にあるが津波避難所として指定されていない
- 3) 津波被害区域と地盤高図で7 m以上の地域が混在し、地域内で避難対策が異なる

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- 1) まず、民間施設はさて置き、公共施設「関屋公民館」の指定要請（津波被害地域直近施設）
- 2) 民間施設指定は各自治会の努力目標
- 3) 避難方法については自治会単位で検討（地域の課題3）の理由により）

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

コミ協では、行政（市の危機管理課、中央区総務課）とコミ協防災部を中心とした意見交換会を2回実施し、地域の実情と要望について話し合った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

特にない

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

市及び中央区とも、よく理解していただき、「関屋公民館」の津波避難所指定に向けて努力してもらっている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- 1) 今後発行されるハザードマップ掲載とも関連があり、時期的にも急がれたこと
- 2) 対象公共施設管理者の了解、行政判断等の問題

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

指定が決まれば、関連自治会で開錠のための鍵の管理者を決め、指定施設の避難時運営指針を参考としてコミ協としても必要な対応について検討を進める。

秋葉区 新関コミュニティ協議会

活動名：災害に強い福祉コミュニティづくりの推進

(「避難所運営マニュアル作り」と 学校・地域と連携した防災訓練)

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

これまで自主防災訓練を繰り返す中で、新関小学校が避難所となった場合、避難所の運営が円滑に行われるためのマニュアルが必要と考えた。マニュアルを使い、災害時に小学校児童の安全な登下校について訓練を通じて検証する必要性を強く感じた。そのためにはコミ協、自治会、学校が連携した訓練が必要となった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

災害(今回は授業日に震度4強の地震を想定)が発生した場合、児童を安全に下校させるための訓練と位置付けた。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

自主防災担当者会議を開催し、訓練の趣旨や目的、役割分担等を綿密に検討した。訓練当日は、「避難所運営マニュアル」に基づき災害対策本部を新関コミセンに設置。小学校や各自治会への連絡や情報収集を行い、小学校グラウンドに児童に児童や関係者全員が集結。自治会ごとに役員や子供が自己紹介し顔と名前を覚え、訓練の目的や心構えなどを理解しあった。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新関小学校・PTA・おひさま保育園・民生委員・地域ボランティア・消防団



実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・これまで、地域住民を目的とした訓練であったが、今回、小学校や児童の安全を守るという視点で行ったことで、参加者からも大きな評価を得た。他のコミ協等の反響も大きかった。
- ・小学校からは、訓練の趣旨、目的について積極的に賛同して頂き、格段のご協力をいただいた。今後も連携強化を推進したい。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・小学校との連携ということで、日程や時間調整等に苦慮した。土曜、日曜は困難であり、授業日であっても限られた時間内（45分授業のため）での内容検討をしなければならなかった。
- ・借り物でない地域の実態に即した「避難所運営マニュアル」作成ということを最優先した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・小学校と連携した防災のあり方をさらに検討し、児童の安全確保に努めたい。
- ・新規地域の「防災の日」を設定し、より防災意識を高める訓練を継続していきたい。



秋葉区 山の手コミュニティ協議会

活動名：避難所設営訓練

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

最近、予測できない未曾有の災害が続発している中、当コミ協に加入している自治会内でも災害に対して、まだ意識が弱く、身近な問題としての考えが希薄になっています。また、自治会長が任期で1年という輪番制を取っている地域も少ないため、防災に関する意識と協力体制の弱小が懸念されます。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

災害発生直後の混乱期による地域住民の安否確認と、避難所の速やかな開設と円滑な運営ができるように、実践的な防災訓練を行うとともに、防災に関する意識と防災体制の強化を図ります。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・各戸の安全確保、火の始末実施
- ・各自治会の安否確認方法

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

秋葉区役所、新潟市水道局、秋葉区社会福祉協議会、新潟市消防団秋葉方面隊小須戸第3分団、特別養護老人ホーム蒼丘の里、(株)ふれあいの杜、小須戸中学校



実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

防災意識について各自治会での考えのばらつきがある中、事業を通して地域の一体化や各自治会同士の連帯感が醸成され、協力体制が図られました。特に自治会は事業を通じ、災害が発生した時の避難による集合場所を決めたり、安否確認方法を議論したり、自治会の自発的な地域活動の気運が高まり、「山の手はひとつ、17自治会はとなり組」という絆が一層構築され、事業目的である災害発生直後の混乱期による地域住民の安否確認と避難所の速やかな開設と、円滑な運営のイメージを体験することができました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

予想しうる問題点解決に向け、度重なる打ち合わせ会議をすることによって、防災意識の高揚を図ることができました。事前に、秋葉区・秋葉区社会福祉協議会など各機関と協力要請を行い、それに伴い地元消防団と連携した取り組みを図りました。また、相互援助協定を結んでいる特別養護老人ホーム蒼丘の里、(株)ふれあいの杜と連携した取り組みを図りました。中学生ボランティアの役割について考え、食事づくりや運搬作業、要援護者の搬送に協力してもらい、助けてもらう側から助ける側へと、中学生ボランティアが災害時に大事な力となることが検証できました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

自治会によっては自治会員の防災意識にムラがあり、また自治会長が任期1年で輪番制を取っている地域も少なくないため、今後も防災に対する協力体制や気運が薄れさせないためにも、防災訓練とは別に秋の消防演習日に合わせて、各自治会の自主防災会の研修を行うなど、コミ協防災部としてより一層の防災意識の向上に努めていきたいです。



南区 大通コミュニティ協議会

活動名：防災訓練・災害図上訓練・防災だより発行

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成23年の新潟・福島豪雨の際、大通地区にも避難指示が出され、指定避難所に避難者を受け入れた。水が上がってしまった自治会もあり、中之口川の水位も破堤ぎりぎりの中、情報伝達が機能しなかった反省をもとに防災活動を強化することとした。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

コミ協から指示命令を待たず、各自治会で災害時に活動できる人材の育成。情報伝達の手段の検討。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

大通地区12自治会しかないが、自治会によって問題点が異なってくるため防災訓練を自治会単位で行い、総括として11月に総合防災訓練を実施。1月その反省・問題提議のためのワークショップを開催。地域の実状を住民に周知させるため、広報誌・防災だより等で随時報告。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

南区社会福祉協議会・地域包括白根北

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

指示待ち防災から、自立防災への意識の変化。防災意識向上。
地域の避難所として施設開放協力団体の獲得。地域病院・介護施設の受け入れ協力。
自治会内での連絡網の整備。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

防災訓練イベントであった大きな事業を見直し、細かく自治会単位に防災訓練の実施を求めた。開催日時・内容・開催意欲などまちまちで、実行に至らせることに苦労した。情報伝達手段のためトランシーバーを導入したが、全て明瞭に繋がらなかった点が今後の課題。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

防災訓練イベントであった大きな事業を見直し、細かく自治会単位に防災訓練の実施を求めた。開催日時・内容・開催意欲などまちまちで、実行に至らせることに苦労した。情報伝達手段のためトランシーバーを導入したが、全て明瞭に繋がらなかった点が今後の課題。



西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域の防火情報についてのチェック活動

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の情勢より火災の延焼についての不安が大きい事が話題となっていた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

火災延焼をテーマに情報を調査収集して、地域図に表して検討をすることを目標にした。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

調査項目を設定してメンバーが現地調査を行い結果を図上に表記した。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

図上表記により危険度がかなり鮮明に区分できた。
この区域を題材に何をすべきかの検討が行える。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

図上にプロットを行うアイコンや表示方法について

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

関係機関を交えて検討会を開催したい。

西区 青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災訓練

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・東日本大震災で津波被害が甚大となり、いろいろな災害を想定した機動的で、かつ有事に備えた訓練に地域が一丸となって取り組む必要があると考えています。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・各自治会で「一時避難場所」を設定し、各住民に合った避難行動の実施をすること。
- ・防災意識の向上と地域ぐるみで参加意識の高揚をつくることです。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・災害想定を定め、先ず高台への誘導訓練を各自治会で実施しました。
- ・有明地区は、全自治会集合場所を青山小学校として、訓練を実施しました。
- ・浦山地区は、全自治会集合場所をやすらぎ公園として、訓練を実施しました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市 西消防署

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

9月30日(日)の実施で

- ・有明地区の参加者は355人でした。
- ・浦山地区の参加者は425人で、両会場で780人参加の訓練となりました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・起震車で震度6強の体験コースを設置し好評であったが、全員の体験が難しかった。
- ・青山小学校児童からの防災標語募集と優秀作品の表彰を実施した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・幼児や小学生の参加は父兄同伴で得られやすいが、中学生以上の参加は皆無であり今後の活動にどのように参加してもらうかを検討課題としていきたい。



西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災セミナー

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

東日本大震災後、避難に関心が深まり、またどのように対応すべきか、ということになりました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

実際に中越沖地震を経験された柏崎市北条地区コミュニティ振興協議会の会長、江尻東磨さんに講師を依頼し、「災害に負けない住民主体のまちづくり」についてご講演いただくこととしました。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

少しでも多くの地域の皆様から来ていただくよう働きかけました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

小針小学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

大変関心を持ってもらったと思います。
災害に遭遇し、自主防災組織が必要との理解を皆さんに感じて頂いたと思います。
また、防災訓練を重ねて、災害での対応を学ぶ参考となりました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

当日の参加者数を把握すること。会場が広すぎても狭すぎても困ること。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

災害に対しての防災訓練に活かしていきたいと思います。

西蒲区 松野尾地域コミュニティ協議会

活動名：自主防災事業、生活環境事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

20年の5月、1時間で3件の不審火が発生したことをきっかけに「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識が高まりました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域を自分たちで守るため、松野尾地域コミュニティ協議会で自主防災組織をつくり、多くの住民から参加してもらって地域交流を促進させるような「防災活動訓練」の実施を目指しました。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

防災訓練会場を地域の宝である「弁天原グランド公園」としました。
会場周辺は雑草と、ごみの不法投棄場所でもあったため、地域住民と共に防災訓練と同時に環境の整備活動も行いました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

消防署、自衛隊

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

防災訓練参加者とともに、地域の宝である「弁天原グランド公園」の草取りを行う事で、多くの参加者との交流が図られました。
地域施設の維持管理と防災に対する意識の高揚、世代間交流、ボランティア精神の高揚が促進されました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加者を集める方法として、小学生に家庭向けのチラシの配布をお願いしました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域の宝「弁天原グランド公園」は、合併前まで50回も地域大運動会を開催してきた場所なので「地域のよりどころ」として位置付け、避難会場の多様化や子ども対象の防災訓練などを実施していきたいと考えています。

